



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月30日

上場会社名 ネットイヤーグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3622 URL http://www.netyear.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 不二代
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 播本 孝 TEL 03-6369-0550
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,171	9.0	△174	—	△174	—	△170	—
2018年3月期第1四半期	1,075	△2.1	△231	—	△232	—	△220	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △170百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 △222百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△24.32	—
2018年3月期第1四半期	△31.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	2,746	1,869	67.1	263.17
2018年3月期	3,203	2,062	63.5	290.72

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 1,841百万円 2018年3月期 2,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	3.25	3.25
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	0.00	—	3.25	3.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,100	△1.5	80	—	79	—	56	△82.1	8.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	6,999,000株	2018年3月期	6,999,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	113株	2018年3月期	113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	6,998,887株	2018年3月期1Q	6,998,887株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な景気回復や政府による金融緩和政策により、改善基調が続く一方、貿易摩擦の拡大や原油高を要因とするコスト増により不透明感が強まっております。当社グループが属するデジタルマーケティング市場は堅調に成長しており、顧客属性に応じたマーケティングを自動化するマーケティングオートメーション(MA)や、ビッグデータや自社サイトのログデータなどを一元管理するデータマネジメントプラットフォーム(DMP)等のシステム市場が拡大し、ツールやシステムの導入支援に対する企業ニーズも増加しております。このような事業環境の中、当社グループにおきましては、2018年4月1日より新組織への移行を行い、営業力の強化及び、前年度に引き続きプロジェクト管理体制の強化による収益性の改善、従業員教育の強化や従業員のワーク・ライフバランスの充実等による生産性向上等の施策を行ってまいりました。

これら取り組み等により、前年同期比で売上が増加した他、営業損失の圧縮につながりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,171百万円（前年同期比9.0%増）、営業損失174百万円（前年同期は営業損失231百万円）、経常損失174百万円（前年同期は経常損失232百万円）となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は、子会社における法人税等調整額△4百万円の計上等から170百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失220百万円）となりました。

なお、当社グループの事業は、従来より売上が第2四半期連結会計期間、第4四半期連結会計期間に集中し、特に多くの顧客企業の事業年度末となる第4四半期連結会計期間に偏重する傾向がありますが、経済環境その他の要因によっては今後もこの傾向が続くとは限りません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における資産につきましては、前連結会計年度末に比べ457百万円減少し、2,746百万円（前年同期比14.3%減）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少629百万円、現金及び預金の増加103百万円、仕掛品の増加38百万円等によるものであります。

当第1四半期末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ263百万円減少し、877百万円（前年同期比23.1%減）となりました。主な要因は、買掛金の減少180百万円、未払税金の減少44百万円、賞与引当金の減少74百万円、前受収益の増加25百万円等によるものであります。

当第1四半期末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ193百万円減少し、1,869百万円（前年同期比9.4%減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失170百万円の計上、前期決算に係る配当金の支払22百万円等によるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末63.5%から67.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結業績は想定範囲内で推移しており、通期の連結業績予想は、2018年5月11日に公表いたしました予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,289,971	1,393,267
受取手形及び売掛金	1,351,350	721,650
仕掛品	100,977	139,705
貯蔵品	1,873	1,494
その他	132,932	166,197
流動資産合計	2,877,104	2,422,315
固定資産		
有形固定資産	81,845	77,897
無形固定資産		
ソフトウェア	6,785	6,093
無形固定資産合計	6,785	6,093
投資その他の資産		
投資有価証券	20,349	20,798
敷金及び保証金	174,189	171,636
繰延税金資産	43,605	47,520
その他	0	0
投資その他の資産合計	238,143	239,954
固定資産合計	326,775	323,945
資産合計	3,203,880	2,746,260
負債の部		
流動負債		
買掛金	405,384	224,731
1年内返済予定の長期借入金	116,669	106,670
未払金	111,940	127,314
未払法人税等	38,238	3,989
未払消費税等	49,564	39,748
前受収益	110,037	135,682
賞与引当金	146,531	71,680
受注損失引当金	62,000	60,000
その他	54,191	85,853
流動負債合計	1,094,556	855,669
固定負債		
長期借入金	36,153	11,157
その他	10,321	10,321
固定負債合計	46,474	21,478
負債合計	1,141,031	877,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,966	570,966
資本剰余金	651,875	651,875
利益剰余金	812,214	619,249
自己株式	△78	△78
株主資本合計	2,034,978	1,842,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△247	△138
その他の包括利益累計額合計	△247	△138
新株予約権	2,761	2,641
非支配株主持分	25,357	24,597
純資産合計	2,062,849	1,869,112
負債純資産合計	3,203,880	2,746,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	1,075,256	1,171,785
売上原価	1,040,671	1,117,673
売上総利益	34,585	54,112
販売費及び一般管理費	266,338	228,135
営業損失(△)	△231,752	△174,022
営業外収益		
受取利息	4	4
助成金収入	300	—
その他	478	538
営業外収益合計	783	543
営業外費用		
支払利息	481	203
為替差損	245	277
支払手数料	312	311
その他	108	—
営業外費用合計	1,148	792
経常損失(△)	△232,117	△174,271
税金等調整前四半期純損失(△)	△232,117	△174,271
法人税、住民税及び事業税	2,553	622
法人税等調整額	△11,875	△3,914
法人税等合計	△9,321	△3,292
四半期純損失(△)	△222,796	△170,979
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,776	△760
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△220,020	△170,219

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純損失(△)	△222,796	△170,979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	335	108
その他の包括利益合計	335	108
四半期包括利益	△222,460	△170,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△219,684	△170,110
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,776	△760

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号 平成30年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を2018年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号 平成17年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。